

整理番号
89

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	保原認定こども園整備事業			担当課	こども未来課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	企画管理係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度 ~ 令和5年度
主な取組	1	保育・教育施設等の整備・確保		事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	2	就学前児保育等検討事業	

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。				
-------------	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	民設民営で整備する保原認定こども園の建築費用の一部を市が補助します。				
------------	------------------------------------	--	--	--	--

対象【PLAN】	就学前児及びその保護者	意図【PLAN】	安心して過ごすことができ、預けることができる		
----------	-------------	----------	------------------------	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	・希望する園に入園することができる				
----------------------	-------------------	--	--	--	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	97,628	172,485				
	都道府県支出金	千円	51,644	4,754				
	地方債	千円	45,600	52,200				
	その他	千円	2,508	2,792				
	一般財源	千円	0	0				
事業費合計		千円	197,380	232,231				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
保原認定こども園の整備	園	実績値が目標値以上となること	目標値	—				
			実績値	1				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	保育需要に対応するため、市の「認定こども園整備計画」に基づき整備したものであり、必要な事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	保育需要に対応するため、市の「認定こども園整備計画」に基づき整備したものであり、整備により定員不足の状況が解消される。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	国で基準額が定められており、それに市の負担分（負担割合も定められている）を上乗せして、認定こども園整備事業者へ建築費の一部について補助するものである。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	終了・完了	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	保原認定こども園の開園により、保原地域の定員数不足が解消される見込みである。
--------	-------	-------------------------	--

整理番号
90

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	伊達・ひかり認定こども園整備事業			担当課	こども未来課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	企画管理係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和5年度
主な取組	1	保育・教育施設等の整備・確保		事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	2	1	就学前児保育等検討事業

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。				
-------------	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	民設民営で整備する伊達東認定こども園の建築費用の一部を市が補助します。				
------------	-------------------------------------	--	--	--	--

対象【PLAN】	就学前児及びその保護者	意図【PLAN】	安心して過ごすことができ、預けることができる		
----------	-------------	----------	------------------------	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	・希望する園に入園することができる				
----------------------	-------------------	--	--	--	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	15,095	211,063				
	都道府県支出金	千円	4,538	7,228				
	地方債	千円	61,500	50,300				
	その他	千円	3,291	2,684				
	一般財源	千円	0	0				
	事業費合計	千円	84,424	271,275				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊達・ひかり認定こども園の整備	園	実績値が目標値以上となること	目標値	—				
			実績値	1				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	保育需要に対応するため、市の「認定こども園整備計画」に基づき整備したものであり、必要な事業である。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	保育需要に対応するため、市の「認定こども園整備計画」に基づき整備したものであり、整備により定員不足の状況が解消される。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	国で基準額が定められており、それに市の負担分（負担割合も定められている）を上乗せして、認定こども園整備事業者へ建築費の一部について補助するものである。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	終了・完了	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	伊達・ひかり認定こども園の開園により、伊達地域の定員数不足が解消の方向に向かう見込みである。しかし、今後、大型商業施設オープンも予定しており、今後確実に発展していく地域であり、さらなる保育需要の増加が見込まれるところである。
--------	-------	-------------------------	--

整理番号
91

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	高子北認定こども園整備事業			担当課	こども未来課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	企画管理係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	1	保育・教育施設等の整備・確保		事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	2	就学前児保育等検討事業	

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。				
-------------	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	民設民営で整備する高子北認定こども園の建築費用の一部を市が補助します。				
------------	-------------------------------------	--	--	--	--

対象【PLAN】	就学前児及びその保護者	意図【PLAN】	安心して過ごすことができ、預けることができる		
----------	-------------	----------	------------------------	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	・希望する園に入園することができる				
----------------------	-------------------	--	--	--	--

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	21,827	196,450			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	4,900	76,200			
	その他	千円	0	310	4,014			
	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	0	27,037	276,664			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
高子北認定こども園の整備	園	実績値が目標値以上となること	目標値	—	—	1	—	—
			実績値	—				
			達成率	—				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	保育需要に対応するため、市の「認定こども園整備計画」に基づき整備したものであり、必要な事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	保育需要に対応するため、市の「認定こども園整備計画」に基づき整備したものであり、整備により定員不足の状況が解消される。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	国で基準額が定められており、それに市の負担分（負担割合も定められている）を上乗せして、認定こども園整備事業者へ建築費の一部について補助するものである。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	高子北認定こども園の開園により、保原地域の定員数不足が解消の方向に向かう見込みである。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
92

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	放課後児童クラブ建設事業			担当課	こども未来課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	こども未来課
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和5年度
主な取組	1	保育・教育施設等の整備・確保		事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	2	放課後児童クラブ建設事業	

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。				
-------------	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	利用児童が安全に過ごせる環境を提供するため、かみほばら放課後児童クラブを整備します。				
------------	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	施設	意図【PLAN】	令和6年4月1日から供用開始するため、令和6年3月までに竣工している		
----------	----	----------	------------------------------------	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	施工業者による確実な施工と、工事工程や進捗等を監理する。				
----------------------	------------------------------	--	--	--	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	都道府県支出金	千円	0	86,067				
	地方債	千円	0	306,300				
	その他	千円	12,908	25,316				
	一般財源	千円	0	0				
	事業費合計	千円	12,908	417,683				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
かみほばら放課後児童クラブの整備(新築)	箇所	実績値が目標値以上となること	目標値	1	/	/	/	/
			実績値	1	/	/	/	/
			達成率	100.0%	/	/	/	/

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	既存施設の老朽化、受入数不足による待機児童の問題から、早急な建設が求められていた。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	定員数増加による待機児童の解消、および高子駅北地区分譲等による将来的な利用ニーズにも対応できる見込みとなった。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	昨今の物価高騰の影響により設計当初の設計額から大幅な増額となる見込みがあったが、設計の見直しにより増額の幅を圧縮することができた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	終了・完了	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	建物の完成により、当該事務事業は終了とする。
--------	-------	-------------------------	------------------------

整理番号
93

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	伊達市版ネウボラ事業（再掲）			担当課	ネウボラ推進課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	ネウボラ推進係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	2	親子の育ちの支援、健康の保持・増進		事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	4	1	7	母子保健事業費

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
すべての妊産婦と乳幼児を対象、子どもが健やかに成長するように切れ目なく支援する体制を整え、安心して出産・育児ができる地域を目指します。

対象【PLAN】	すべての妊産婦と18歳までの子どもとその家庭を対象とする。	意図【PLAN】	子どもが健やかに成長するように切れ目なく支援する体制を整え、安心して出産・育児ができる地域を目指す。
-----------------	-------------------------------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
①切れ目のない支援のための職員の配置（親子1対1で支援する担当保健師、公認心理師、相談員等）②妊婦訪問での育児パッケージ贈呈③産前産後の育児技術習得と仲間づくり④母子保健事業との相互連携によるきめ細やかな支援体制づくり⑤関係機関とのネットワーク構築

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	15,356	10,094	9,545			
	都道府県支出金	千円	3,208	1,757	1,572			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	9,565	7,792	20,316			
	事業費合計	千円	28,129	19,643	31,433			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
今後も伊達市で子育てをしていきたいと思う人の割合	%	実績値が目標値以上となること	目標値	77.0	77.0	77.0	77.0	77.0
			実績値	77.0	(暫定)			
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	妊娠期からの伴走型支援をとおし、ネウボラ事業等の相談体制で切れ目のない支援を実施している。母子保健（予防）支援、子育て支援として優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	各施策の達成状況を把握するため、すこやか親子21アンケートを通して、市民の声、満足度を把握することは有効と考える。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・事業費用は必要最小限とし補助金の活用等で費用を抑えるよう努めた。 ・ネウボラ事業での参加募集はログフォーム等のシステムを活用し事務の効率化を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	これまで以上全妊婦、子育て世帯、子どもに対して保健と福祉の一体的な相談体制の強化、切れ目のない支援が必要である。そのため、保健・福祉・教育の連携を強化した支援体制を構築していく必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
94

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	幼児発達支援事業				担当課	ネウボラ推進課			
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち				担当係	発達支援係		
施策項目	1	子育て支援				計画期間	令和5年度～令和7年度		
主な取組	2	親子の育ちの支援、健康の保持・増進				事業区分	直営		
予算科目	会計	款	項	目	大事業				
	1	3	2	1	幼児発達支援事業費				

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
発達に偏りのある未就学児へ切れ目のない寄り添った支援として、相談・助言・専門的な指導を行い、早期の発達支援を実施することで、健全育成を図ります。

対象【PLAN】	①発達に偏りのある未就学児や言語に障がいや障がいの疑いのある幼児 ②保護者	意図【PLAN】	①健やかな発達と成長を促す。 ②こどもの成長と発達を理解し、安心して子育てができる。
-----------------	--	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
①生活の中での専門的相談・助言
②乳幼児健診や発達検査の結果に基づく助言
③小集団での親支援 など、ニーズに応じた支援方法により、安心して子育てができるようになる。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	12,476	8,225	13,236			
	事業費合計	千円	12,476	8,225	13,236			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
乳幼児健診で発達に関する精査が必要とされる子どもが、発達支援室で相談・支援を受けた子どもの割合	%	実績値が目標値以上となること	目標値	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0
			実績値	50.0				
			達成率	76.9%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	発達に偏りのある未就学児、言語に障がい又は障がいの疑いがある幼児やその保護者は、特性を踏まえた相談や支援をとおして生活場面での困り感の軽減や改善につながることから優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	保護者や児のニーズに応じた個別相談・支援、アドバイザーによる小集団支援、公認心理師や言語聴覚士などの専門的助言は、児の発達の偏りや障がいの理解を深め適した学びにつながった。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	悩みを抱える保護者や未就学児に寄り添い、児の特性に適した計画に基づき、切れ目のない支援を続けた。児の特性に合わせた指導には多くの時間を要するが、中には改善が確認できたケースもあり児の社会での生きやすさにつながっている。

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・市内園、健康推進課等関係機関との関係を強化し、切れ目のない支援の一環として障がい特性のあるこどもを円滑に相談支援につなげる。 ・障がい児・保護者の個々に応じた効果的な相談や支援ができるよう、障がいの理解と支援技術を深める。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
95

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	こども家庭センター推進事業			担当課	ネウボラ推進課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	ネウボラ推進係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和5年度
主な取組	2	親子の育ちの支援、健康の保持・増進		事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	4	1	7	母子保健事業費

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。				
-------------	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターを一体化し、保健・医療・児童福祉・教育のネットワークの推進を図ります。				
------------	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	庁内関係部署	意図【PLAN】	子どもが健やかに成長するように切れ目なく支援体制を整え、安心して出産・育児ができる地域を目指す。		
----------	--------	----------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	母子保健と児童福祉の一体的な相談体制をさらに強化するため、支援計画の作成や関係機関との連絡調整及び情報共有、伊達市版ネウボラ事業の取り組みと保健、医療、児童福祉、教育の連携を図る。				
----------------------	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	15,356	10,094				
	都道府県支出金	千円	3,208	1,757				
	地方債	千円	0	0				
	その他	千円	0	0				
	一般財源	千円	9,565	7,792				
事業費合計		千円	28,129	19,643				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
庁内連携会議の開催回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	2				
			実績値	6				
			達成率	100.0%				

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	母子保健と児童福祉の一体的な相談体制を整えることは、安心して子育てができることから市民のニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	すこやか親子21のアンケート結果で市民の声や満足度の把握、庁内連携会議での協議は、センター機能の相談、支援体制の強化に有効だと考える。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	会議は、協議内容を明確化し時間配分の工夫に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和5年度は、令和6年度こども家庭センター設置に向け会議等で実施内容や支援方法、組織体制を検討し、滞りなく開所予定となった。 ・令和6年度は、センター機能の推進及び連携強化のため庁内連携会議を合同ケース会議と位置づけ母子保健と児童福祉の一体的な支援をしていく。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
96

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	伊達市保健センター改修・増築事業			担当課	健康推進課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	健康企画係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和5年度
主な取組	2	親子の育ちの支援、健康の保持・増進		事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	4	1	8	保健センター建設事業費

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。				
事業概要【PLAN】	保原保健センター、子育て世代包括支援センターの改修・増築により、施設の長寿命化を図り、乳幼児のための設備等市民が不便なく利用できるよう整備するとともに、発達相談支援機能、養育支援機能などの子育て支援機能を集約して連携を強化します。				
対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	子育て支援機能を集約し、寄り添う支援の強化、包括的な相談支援の場、市民の健康づくり・健康増進事業などの活動・支援の拠点として伊達市こども家庭センター及び伊達市保健センターを整備します。		
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	施設の改修・増築により、分散している機能の集約を図ります。				

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	都道府県支出金	千円	0	0				
	地方債	千円	197,300	204,000				
	その他	千円	10,390	10,834				
	一般財源	千円	0	14,505				
事業費合計		千円	207,690	229,339				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
工事の進捗	%	目標値が実績値以上となること	目標値	100.0				
			実績値	100.0				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】		評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化の進展に伴い、専門性を有し様々な課題に包括的に対応できる施設の必要性が高まっているため、分散している子育て支援機能を集約し、寄り添う支援の強化、包括的な相談支援機能の整備、市民の健康づくり・健康増進事業などの活動拠点としての機能を有した施設の整備が必要です。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期からの切れ目のない子育て支援と市民の健康づくりの拠点として機能することが期待できます。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金や合併特例債、基金を効果的に活用し費用の削減に努めました。 	

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	終了・完了	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	子育て支援機能の集約化及び連携の強化、健康づくり機能の拠点の明確化を図り、施設の機能強化と長寿命化を図ることができました。

整理番号
97

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	保育所運営費負担金事務				担当課	こども未来課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			担当係	幼保支援係
施策項目	1	子育て支援			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	3	保育サービスの充実			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	2	2	保育所運営費負担金事務	

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。					
-------------	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	子ども・子育て支援法に基づき、保育を実施した私立保育所に運営費を支給します。					
------------	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	私立保育園	意図【PLAN】	私立保育園に対する運営費の支給			
----------	-------	----------	-----------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	多様な保育サービスの実施に基づく私立保育園からの運営費の請求					
----------------------	--------------------------------	--	--	--	--	--

事業費【D0】	年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	170,756	212,869	180,143		
	都道府県支出金	千円	96,255	89,843	92,096		
	地方債	千円	0	0	0		
	その他	千円	16,973	18,810	13,025		
	一般財源	千円	153,834	71,637	142,618		
	事業費合計	千円	437,818	393,159	427,882		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
園数	園	実績値が目標値以上となること	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	園児が健やかに保育園で生活できるように、運営に係る負担金、補助金を交付し、保護者が安心して働ける社会づくりのため、市民ニーズ、社会的需要、事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	園児の保育のためのみならず、保護者の労働環境に直結するため、社会貢献度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	国、県の補助金を活用するなどして財源確保に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	少子化の一方で保育への需要は上昇している。給付費や補助単価も上昇する中、持続的な予算確保が課題である。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
98

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	認定こども園運営費負担金事務				担当課	こども未来課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			担当係	幼保支援係
施策項目	1	子育て支援			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	3	保育サービスの充実			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	2	6	認定こども園運営負担金事務	

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。					
-------------	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	子ども・子育て支援法に基づき、保育を実施した私立認定こども園に運営費を支給。多様な保育サービスを提供する認定こども園に対し補助金を交付します。					
------------	---	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	私立認定こども園	意図【PLAN】	私立認定こども園に対する運営費の支給			
----------	----------	----------	--------------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	多様な保育サービスの実施に基づく私立認定こども園からの運営費、事業補助金の請求					
----------------------	---	--	--	--	--	--

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	397,892	480,831	617,867			
	都道府県支出金	千円	221,665	241,695	378,452			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	296,718	202,279	459,271			
	事業費合計	千円	916,275	924,805	1,455,590			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
園数	園	実績値が目標値以上となること	目標値	5	7	8	8	8
			実績値	5				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	園児が健やかに保育園で生活できるように、運営に係る負担金、補助金を交付し、保護者が安心して働ける社会づくりのため、市民ニーズ、社会的需要、事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	園児の保育のためのみならず、保護者の労働環境に直結するため、社会貢献度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	国、県の補助金を活用するなどして財源確保に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	少子化の一方で保育への需要は上昇している。給付費や補助単価も上昇する中、持続的な予算確保が課題である。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
99

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	認定こども園維持管理事業			担当課	こども未来課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	施設運営係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	3	保育サービスの充実		事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	大事業	
	一般	3	2	6	認定こども園維持管理事業

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。				
-------------	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	幼稚園と保育園を一体化した公立認定こども園において就学前教育保育を行うための維持管理を行います。				
------------	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	①乳幼児 ②認定こども園	意図【PLAN】	認定こども園の維持管理		
----------	-----------------	----------	-------------	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	<ul style="list-style-type: none"> ・園の要望による施設の修繕 ・保守点検業者等からの点検結果（指摘事項）に基づく修繕、工事 ・長寿命化計画に基づく施設の改修 				
----------------------	---	--	--	--	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	8,297	9,726	7,081			
	都道府県支出金	千円	8,195	8,697	7,327			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	21,045	8,028	19,145			
	一般財源	千円	172,314	152,882	195,801			
	事業費合計	千円	209,851	179,333	229,354			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
園数	園	実績値が目標値以上となること	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 	園児が安全に安心して認定こども園で生活できるように、園舎や遊具等の修繕を実施しており、市民ニーズ、社会的需要、事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 	園児が安全に安心して認定こども園で生活できるように、施設の保守点検や修繕を行うことは有効であると考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> ・見積り合わせにより費用が安価な業者を選定している。 ・再利用できる資材があれば再利用する。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今年度は計画的に予算執行ができた。限られた予算のなかで最大限の効果が得られるよう、計画的なメンテナンスを行えるかが課題である。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
100

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	保原保育園運営維持管理事業				担当課	こども未来課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			担当係	施設運営係
施策項目	1	子育て支援			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	3	保育サービスの充実			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	一般	3	2	5	保原保育園運営維持管理事業	

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。					
-------------	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	保原保育園において就学前保育を行うための維持管理を行います。					
------------	--------------------------------	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	①乳幼児 ②保原保育園及び分園	意図【PLAN】	保原保育園及び分園の維持管理			
----------	--------------------	----------	----------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	<ul style="list-style-type: none"> ・園の要望による施設の修繕 ・保守点検業者等からの点検結果（指摘事項）に基づく修繕、工事 ・長寿命化計画に基づく施設の改修 					
----------------------	---	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	1,352	1,017	1,089			
	都道府県支出金	千円	1,942	1,959	1,951			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	17,976	14,682	14,578			
	一般財源	千円	94,865	98,960	120,052			
	事業費合計	千円	116,135	116,618	137,670			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
園数	園	実績値が目標値以上となること	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 	園児が安全に安心して認定こども園で生活できるように、園舎や遊具等の修繕を実施しており、市民ニーズ、社会的需要、事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 	園児が安全に安心して認定こども園で生活できるように、施設の保守点検や修繕を行うことは有効であると考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> ・見積り合わせにより費用が安価な業者を選定している。 ・再利用できる資材があれば再利用する。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今年度は計画的に予算執行ができた。限られた予算のなかで最大限の効果が得られるよう、計画的なメンテナンスを行えるかが課題である。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
101

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	地域子育て支援事業（子育て支援センター）			担当課	こども未来課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	幼保指導係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	4	多様な子育て支援サービス等の提供		事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	2	1	児童福祉諸費

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
安心して子育てができる環境を整えるため、子育て中の親子が気軽に遊んで交流し、育児に関する相談などでもできる子育て支援センターを運営します。

対象【PLAN】	子育て中の保護者	意図【PLAN】	支援センターのイベント参加を通じた他の保護者との交流等により、不安や育児ストレスから解放されること。
-----------------	----------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】

- ・気軽に立ち寄ってもらえるよう、支援センターの事業内容や目的が保護者に理解されていること。
- ・親子で楽しめる子育てイベントを随時開催し、保護者同士で交流、相談し合える機会を積極的に提供すること。
- ・アプリやホームページを活用し、上記に関する情報が手軽に得られること。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	17,640	17,512	17,691			
	都道府県支出金	千円	15,940	15,713	16,183			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	16,171	15,957	18,725			
	事業費合計	千円	49,751	49,184	52,599			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
子育て支援センター利用者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	16,000	17,000	18,000	19,000	20,000
			実績値	15,593				
			達成率	97.5%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 	核家族の増加や子育て家庭の孤立が問題視されていることを踏まえ、様々な子育ての悩み解消につながる子育て支援センター事業は必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 	コロナ禍の定員制度を緩和し、利用できる回数を増やした。その中でも、今まで同様に保護者の悩みや相談を丁寧に傾聴し、コミュニケーションを大切に運営を行ったことで、各センターとも保護者から支持を得ている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	毎月の連絡会の運営方法について見直した。事前に各支援センターから提出の報告書をもとに運営し、会の時間短縮や会議録作成の負担軽減を図った。

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	子育て支援センターは、子育て家庭にとって身近に利用できて相談しやすい場所である。育児不安を抱えている保護者に、今後も安心して利用してもらえ、継続して効果を高めていく。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
102

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	放課後児童健全育成事業			担当課	こども未来課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	施設運営係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	4	多様な子育て支援サービス等の提供		事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	大事業	
	一般	3	2	1	放課後児童健全育成事業

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。				
-------------	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後の時間帯において保護者の代わりに適切な遊びや生活の場を提供し健全育成を図ります。				
------------	---	--	--	--	--

対象【PLAN】	登録児童(小学1年生～小学6年生)	意図【PLAN】	安全な場所で遊びや生活の場を提供することにより児童の健全育成を図ることができる。また、女性の就労の増加や少子化が進行する中、仕事と子育ての両立を支援することができる。		
----------	-------------------	----------	---	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	運営施設の環境改善、施設整備に努め希望するもの全員が入所できるようにする。				
----------------------	---------------------------------------	--	--	--	--

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	25,198	32,823	30,599			
	都道府県支出金	千円	25,198	32,762	30,574			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	29,409	32,324	51,723			
	一般財源	千円	118,517	82,784	172,512			
	事業費合計	千円	198,322	180,693	285,408			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
放課後児童クラブ利用者数(登録者数)	人	実績値が目標値以上となること	目標値	800	830	830	830	830
			実績値	829				
			達成率	100.0%				

通常利用登録者数
(R6.3.20現在)

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	現在公立児童クラブを、11ヶ所で運営している。平成27年度の制度改正があって小学6年生まで利用が可能になったことや、核家族化の進行、共働き世帯の増加等により、年々利用登録児童が増加傾向にある。今年度、公立の児童クラブで定員を超える申し込みがあり、年度当初は利用できない児童が出た。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	毎年11月に利用児童保護者を対象としたアンケート調査を実施しており、「保護者と児童クラブ職員との連携」は8割以上が「大変良い」又は「良い」と回答するなど、高い満足度を得ている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	児童クラブを3つのエリアに分けて放課後児童コーディネーターを配置し、ムダ・ムラのないようにシフトを組んだ。夏休み期間は10時間30分開所が約1か月間続いたため、極力長時間勤務にならないように午前と午後を分けるなど、改善に取り組んだ。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	アンケート調査の結果、他項目と比較し「学習支援」の満足度が低い傾向にある。児童クラブでの児童の様子を知ってもらう機会として、保育参観週間を設け保護者の理解を深めたり、児童クラブでの児童の頑張りを知り、保護者がほめることで学習意欲の向上を図る。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
103

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	子どもの未来応援ネットワーク事業			担当課	ネウボラ推進課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	こども家庭相談係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	4	多様な子育て支援サービス等の提供		事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	2	1	児童福祉諸費

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。
-------------	--

事業概要【PLAN】	市内の子どもの貧困対策及び居場所づくりのため、子ども支援ネットワーク会議において官民一体となって協議していくとともに、子ども食堂設置への補助や学習支援等に取り組みます。
------------	--

対象【PLAN】	18歳未満の子ども	意図【PLAN】	すべての子どもが育った環境に左右されることなく健やかに成長できる環境を整えること。
----------	-----------	----------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	子どもの貧困に関する市の課題が共有され、広い視点からその解決策を検討し、目標の実現に向け取り組まれていること。
----------------------	---

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	1,412	1,350	1,412			
	都道府県支出金	千円	423	608	423			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	3,082	988	3,105			
	事業費合計	千円	4,917	2,946	4,940			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
子どもの居場所の数	ヶ所	実績値が目標値以上となること	目標値	9	10	10	11	12
			実績値	9				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂の利用者数は増えており、市民の中で認知度が高まりつつある。 中学生対象の学習支援事業は、年々参加者数が増えている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援事業は、専門業者に業務委託することで参加者の満足度が向上しているとともに、講師との会話を通したコミュニケーションスキルの向上にも寄与できており、参加者の居場所の一つになっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援事業は、2会場で隔週開催から1会場で毎週開催とした。昨年より大幅に開催回数が増え、学習習慣の定着に繋がった。また、会場に1人配置になる「主任」が1人となり、費用を抑えられた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	子ども食堂も学習支援事業も、参加者にとっては居場所の一つとして認知され有効に活用されている。子ども食堂は子どもの利用者が、学習支援事業は参加者そのものが少ない。認知度の向上と利用しやすい環境づくりが課題。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
104

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	子育てアプリ事業				担当課	こども未来課		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			担当係	企画管理係		
施策項目	1	子育て支援			計画期間	令和5年度～令和5年度		
主な取組	4	多様な子育て支援サービス等の提供			事業区分	一部委託		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	3	2	1	子育てアプリ事業			

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。							
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	スマートフォン普及率の高い子育て世代に向けたアプリケーションにより、子育て支援イベントの発信や子育て支援策の案内など子育て関連の情報発信を行い、子育て支援の充実を図ります。							
------------	--	--	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	妊婦から子育て中の保護者			意図【PLAN】	アプリの利用により、保護者がいつでも簡単に子育て情報をチェックできること			
----------	--------------	--	--	----------	--------------------------------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対しアプリの存在、利便性が周知されていること ・多様な子育て情報が発信できるよう、他課にもアプリを活用してもらうこと ・新たな機能の追加などにより、より使いやすいアプリへ進化していくこと 							
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	757	1,096			
	都道府県支出金	千円	0	270	548			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	1,298	271	627			
	事業費合計	千円	1,298	1,298	2,271			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
スマートフォンアプリのインストール数	ダウンロード	実績値が目標値以上となること	目標値	4,203	4,503	4,803	5,103	5,388
			実績値	4,387				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 	国をあげて推進している伴走型相談支援について、伊達市では、だて子育てアプリを活用し子育てに係る各種情報発信を行っており、伴走型相談支援に欠かせないツールとなっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 	令和5年度の年間ダウンロード数は484件であり年間出生者数を上回っていることから、着実に子育て世帯へ浸透している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	令和5年度より、交付金を活用することで一般財源を抑えてアプリを運用することができた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	必要に応じて新たな機能・メニューの追加を行い、より使いやすいアプリとしていく。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
105

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	児童手当給付事業			担当課	ネウボラ推進課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	子育て支援係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	4	多様な子育て支援サービス等の提供		事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	2	児童手当事業費	

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。				
事業概要【PLAN】	家庭生活の安定と次世代の社会を担う児童の健全育成・資質の向上を図るため、0歳から中学3年生までの子どもを養育している方に支給します。				
対象【PLAN】	児童を監護し、かつ、これと生計を同じくする父母等であって、伊達市内に住所を有するもの	意図【PLAN】	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する		
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	児童を養育している者への児童手当の支給				

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	489,484	467,295	507,256			
	都道府県支出金	千円	109,195	104,972	113,787			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	110,706	105,478	114,807			
	事業費合計	千円	709,385	677,745	735,850			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
対象児の把握と適正な支給	%	実績値が目標値以上となること	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	100.0				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】	
評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 児童手当の支給は、法令等によって市が行うものと義務付けられている。子育て世帯が、安心して子育てをするための経済的支援として市民ニーズ・社会的需要が高く、事務事業の優先度は高いと評価する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 子育て世帯への経済的支援は、家庭生活の安定や児童の健全育成に寄与していると考えられ、貢献度は高いと評価する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 具体的かつ正確な根拠資料を作成の上、国・県へ遺漏なく交付金を申請し、財源確保を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	本事業は関連法令に基づき適正に執行されている。令和6年度制度改正にあたっては、市民への周知を確実に実施し、引き続き適正な支給を行う。

整理番号
106

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	出産・子育て応援事業			担当課	ネウボラ推進課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	ネウボラ推進係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和5年度
主な取組	4	多様な子育て支援サービス等の提供		事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	2	1	出産・子育て応援事業

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、市が伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の給付を一体的に実施します。

対象【PLAN】	全ての妊婦及び主に0歳から2歳の乳幼児を養育する子育て世帯	意図【PLAN】	全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整える。
-----------------	-------------------------------	-----------------	-----------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近に相談に応じ、様々なニーズにあった必要な支援につなぐ伴走型の支援を充実し、経済的支援を一体として実施する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	23,439	15,346				
	都道府県支出金	千円	5,859	3,836				
	地方債	千円	0	0				
	その他	千円	0	0				
	一般財源	千円	6,490	3,872				
事業費合計		千円	35,788	23,054				

23,054

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
対象児の把握と適正な支給	%	実績値が目標値以上となること	目標値	100.0				
			実績値	100.0				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	妊娠期からの伴走型支援や出産・子育て応援給付金の経済的支援を実施することで安心して子育てができる環境が整うことから、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	安心して子育てができる体制には、伴走型支援と経済的支援は有効だと考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> 出産、子育て応援給付金事務は、システム化することで事務の効率化を図った。 事業費は補助金を活用し費用を抑えるよう努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	伴走型支援と経済的支援を一体的に行うことで、全妊婦、こども、子育て世帯の状況をより把握することができた。安心して出産、子育てができるためには、事業の充実、関係機関との連携強化が必要である。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
107

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	児童虐待等相談事業				担当課	ネウボラ推進課		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			担当係	こども家庭相談係		
施策項目	1	子育て支援			計画期間	令和5年度～令和7年度		
主な取組	5	要保護児童等への対応			事業区分	直営		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	3	2	1	児童福祉諸費			

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。							
事業概要【PLAN】	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の養育その他の家庭児童福祉の向上を図るための相談、指導及び援助を行います。 ・要保護児童対策地域協議会の調整機関として、関係機関と連携を図りながら、児童虐待をはじめ要保護児童等の早期発見・対応に努め、適切な支援等を行います。 							
対象【PLAN】	18歳未満の子ども			意図【PLAN】	児童虐待防止における連携を図り、各関係機関とともに適切な支援を行い、健やかに成長できる環境を整えること。			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	専門職による子どもおよび保護者の相談援助活動を行い、場合によっては必要な地域資源につなげ、自立した生活ができるよう支援する。							

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	1,728	2,831	2,942			
	都道府県支出金	千円	1,698	3,127	1,058			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	10,571	7,444	8,938			
	事業費合計	千円	13,997	13,402	12,938			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
家庭児童相談件数	人	実績値が目標値以下となること	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	131				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】	
評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 支援が必要な児童および保護者の相談窓口として必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 子どもに関して市民が困ったときにすぐに相談できる総合的な窓口の役割を担っている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 資料の事前配布を行い、会議時間の削減に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】	
今後の方向性	維持 事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など 相談の初動は2人体制で行ったことで、情報共有とその後の支援が迅速にできた。早期発見・早期対応を行うため、学校や園との連携をより一層深めていく必要がある。

整理番号
108

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	青少年育成市民会議団体支援事業			担当課	こども未来課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		担当係	企画管理係
施策項目	1	子育て支援		計画期間	令和5年度～令和5年度
主な取組	6	青少年の健全育成		事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	10	1	2	青少年育成事業費

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。				
-------------	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	伊達市の未来を担う青少年の健全育成を図るため、家族・地域・学校などの様々な取り組みを支援し、関係機関とともに充実した事業の推進を図るため市民会議団体へ補助金を交付します。				
------------	---	--	--	--	--

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	次代を担う青少年の健全な育成を図ります。		
----------	----	----------	----------------------	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	青少年の問題が持つ重要性和多様性に鑑み、広く市民の創意を結集し、関係機関や各団体との連携を密にする。				
----------------------	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	2,362	3,519	3,519			
	事業費合計	千円	2,362	3,519	3,519			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
事業実施回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	9				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	青少年の日常感じていること・考えていることを発表する場や大人へ自覚を高めるための事業を行うため青少年の健全育成のために必要。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	事業に参加した生徒や学校関係者からは一定の評価をいただいている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	事業費の一部を文化庁の補助金を活用するなどして財源確保に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	コロナ禍があげ、以前のように対面や一堂に会した形で各事業を行うことができた。青少年の健全育成のために、財源確保しつつ、関係機関と連携して今後も継続して事業を行いたい。
--------	----	-------------------------	---